

2025-26年度 加藤会長テーマ -世のため、人のため-

第3200回例会 令和7年12月23日(火) 天気:晴 No. 17



会長 / 加藤 典男 幹事 / 本多 淳

クラブ会報委員 谷崎直樹 / 羽佐田芳和 / 神谷明

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:<https://www.nishio-rotary.org>

2025-2026 年度

RI テーマ

**よいことの
ために
手を取りあおう**

【本日のプログラム】

司 会 杉浦竜基例会運営委員長 齊 唱 「我等の生業」
 プログラム 一般社団法人西尾青年会議所 第69代理事長 石川詠一郎 氏
 「一般社団法人西尾青年会議所2025年度の取り組み総括」
 食 事 かん田



【会長挨拶】



金利が0.25上がりました。皆様は金利が上がる局面というのを覚えていますか。1995年以降、日本は金利が下がり続けており、今回久しぶりに上がったわけですが、正直なところたった0.25上げたところで円安は止まりません。このまま170円、200円と進む可能性もあると思います。物価高対策としてやったつもりなのかもしれませんが、なぜ今なのかはよく分かりません。円高になって良いことがあるかと言われると、正直一つも思い浮かびません。今は上げる必要はなかったのではないかと、勝手に思っています。

今週も『サピエンス全史』の話をします。前回は、人間が「嘘」をつけるようになり、虚構を信じられるようになったことで、圧倒的な力を持ったという話をしました。ホモ・サピエンスの骨が見つかる場所では、それ以後、他の人類は生きていません。ネアンデルタール人もデニソワ人も姿を消しています。そのため「ホモ・サピエンスが滅ぼした」というのが通説です。その理由が「認知革命」です。言語能力が飛躍的に高まり、見たこともない祖先や架空の存在を信じられるようになりました。7万年前の遺跡から、ライオンの頭を持つ人間の像が出土していることが、その証拠だとハリ氏は言います。この理論は非常に完成度が高く、今も最有力説です。

その後、6万年かけて他を排除し、1万2000年前に農業革命が起きます。狩猟採集という自由な生活から、小麦を育てるために水やりや草取りに追われる生活になりました。ハリ氏は「人間は植物の奴隷になった」と言いますが、まさにその通りだと思います。定住が進み人口が増える中で、宗教や国家が生まれました。見たこともない王様の力を信じ、跪く。宗教も同じです。そして究極の虚構が「お金」です。誰も本物を見たことがないのに、皆が信じているから成り立つ、それこそが75億人が共存できている理由です。文字が生まれ、帝国ができ、宗教が広がり、1492年にコロンブスが新大陸を発見しました。ここで人類は「自分たちは何も知らなかった」と気づき、科学へ投資し、資本主義が始まりました。今はさらにDNA解析が進み、人間の設計図にまで手が届こうとしています。しかし日本は研究規模も資金も圧倒的に足りません。このままではAIでも、生命科学でも負けてしまいます。『サピエンス全史』は、日本がこれからどう生きるかを考えさせる一冊だと思います。

【委員会報告】

〈出席委員会〉 岩瀬 淳治委員長

本日の出席数 55名 欠席数 10名 出席率 84.62%

〈スマイルボックス委員会〉 辻村 敏晃委員長

加藤典男君 JC69代理事長 石川詠一郎君、ようこそ西尾ロータリーへ。いつでもおとうさんと代わっていただいて問題ありません。

本多 淳君 西尾青年会議所 石川理事長、佐藤専務理事、ようこそ西尾RCへ。本日はよろしくお願ひします。

石川哲朗君 西尾青年会議所の皆さん、ようこそいらっしゃいました。西尾RCには現在36名のJCのOBが在籍しています。これからも仲よくやっていきましょう。

鳥山欽示君 西尾JC石川69代理事長、佐藤専務理事、ようこそRCへ。お父様は来年西尾RC69代会長です。

浅岡直幸君 69代石川理事長、本日は宜しくお願ひ致します。父君と同じ69代は西尾市の歴史に刻まれます。

山崎克弥君 石川理事長、ようこそ西尾ロータリーへ。英知と勇気と情熱をもってのお話楽しみにしてます。

杉浦 広君 青年会議所理事長 石川君、ようこそ西尾RCへ。スピーチ楽しみです。

谷崎直樹君 西尾青年会議所 石川理事長ようこそ西尾RCへ。本日はよろしくお願ひします。

三宅千鶴君 西尾青年会議所 石川理事長、卓話よろしくお願ひいたします。

辻村敏晃君 西尾JCの石川理事長、佐藤専務、楽しみに待っていました。まだ早いですが卒業を心待ちにしています。

岩瀬正広君 第1回次年度理事会を先ほど無事終わることができました。理事のみなさま、いろいろ助けて下さいませ。

杉田明弘君 松本電気の松本社長様、迅速・丁寧・安価な対応ありがとうございました。

犬塚宣明君 東海東京証券の足立さんには大変お世話になっております。今後共宜しくお願ひします。

永江義澄君 今年最後の例会です。皆様1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。来年もよろしくお願ひ致します。

【卓話】

一般社団法人西尾青年会議所 第69代理事長 石川詠一郎 氏 「一般社団法人西尾青年会議所2025年度の取り組み総括」



私たち青年会議所、いわゆるJCは、20代・30代の若者が中心となり、まちづくり、ひとづくりに挑戦する団体です。明るい豊かな社会の実現を目指し、地域の中で課題に向き合い、挑戦と行動を繰り返しながら、未来を切り拓いていく団体です。本日は、西尾青年会議所が今年度どのような思いで活動を行い、どのような取り組みをしてきたのかお話しします。

はじめに自己紹介をします。私は2009年に株式会社悠峰写真場に入社し、その後2014年に一般社団法人西尾青年会議所へ入会しました。今年度、2025年に理事長職をお預かりし、さらに来年には創立70周年記念事業の実行委員長として、式典・祝賀会を取り仕切る立場となっています。仕事は、家業である写真館にて、学校アルバムや卒業アルバムの制作、七五三や成人式といった各種記念撮影、それに付随する衣装レンタルやヘアメイク事業を行っています。三代続く写真館の息子として、小さい頃から写真に囲まれて育ち、地域の皆様の人生の節目に立ち会い、その笑顔を記録することを使命として仕事に携わっています。

本題の西尾青年会議所の活動報告を行います。西尾青年会議所は1957年に設立され、本年度で創立69年目を迎えました。現在の会員数は94名。「修練・奉仕・友情」を三信条に掲げ、明るい豊かな社会の実現を目指して活動しています。本年度のスローガンは「笑えれば」です。組織としては、どんな状況でも最後は笑い合える一年にしたい。メンバー一人ひとりには、何があってもそれを背負い込み、最後に笑うという選択ができる強さを持ってほしい。そして、地域へ運動を発信する委員長たちには、できる・できないではなく、挑戦し、全力でやりきった結果として笑える一年にしてほしい。そんな思いを込め、このスローガンを掲げました。対外事業として、5月には「まちづくり大作戦」を開催しました。小学校4年生以下を対象に、「こんなまちがあったらいいな」というテーマで、子どもたちがグループごとに話し合い、まちづくりを体験する事業です。最初は戸惑っていた子どもたちも、次第に意見を出し合い、まちの未来について真剣に考える姿が印象的でした。まちの未来をつくるのは、今の子どもたち、そして若者です。この経験が、将来の西尾市につながればという思いで実施しました。7月には、「人とAIロボット、共に働く未来のリアル」と題し、株式会社デンソー様を講師にお迎えし、最先端技術について学ぶ講演会を開催しました。新しい技術に触れることへの不安や抵抗感を乗り越え、正しく知り、判断することの重要性を、地域の事業者の皆様と共有する機会となりました。また、6月には「わんぱく相撲西尾場所」を開催しました。小学生が真剣勝負を通じて、相手を思いやる心や、最後までやり抜く姿勢を学ぶ、非常に意義のある事業です。さらに、本年行われた西尾市長選挙においては、合同公開討論会の設営を西尾青年会議所が担いました。青年会議所は政治的中立の立場を取りながら、市民が政策を知り、判断する場づくりを行い、主権者意識の醸成に取り組みました。組織面では、会員拡大にも力を入れました。若者の数の減少や価値観の多様化など課題は多くありますが、本年度は22名の新入会員を迎えることができました。青年会議所ではか得られない学びや経験を、丁寧に伝えてきた結果だと感じています。

来年、西尾青年会議所は創立70周年という大きな節目を迎えます。1月16日には記念式典、5月24日には記念祝賀会を開催予定です。これまで西尾青年会議所を支えてくださったすべての先輩方、関係者、地域の皆様へ感謝を伝え、次の時代へ進むための一年にしたいと考えています。

